

2022年9月5日

住友電気工業株式会社

経済産業省の定める「DX認定事業者」に認定されました

住友電気工業株式会社（住所：大阪府中央区、社長：井上 治、以下 住友電工）は、2022年9月1日付けで経済産業大臣による「DX（デジタルトランスフォーメーション）認定事業者」として認定されました。



「DX認定制度」は、「情報処理の促進に関する法律」に基づき、デジタルによってビジネスを変革する準備ができている状態（DX-Ready）の企業を国（経済産業大臣）が認定する制度です。

当社は、デジタル技術の活用によって、製造業にとっての重要課題として全社を挙げて取り組んでいる「SEQCDD^{*1}」の改善強化を加速・深化させていくことをDXの中核と位置づけております。この方針の下、2021年4月には社長を委員長とする「DX推進委員会」を立ち上げました。そして、2021年10月には、「モノづくり力強化」「サプライチェーン強化」「働き方改革」「データ活用によるプロセス改善の加速」「DX人材育成」の5つを重点課題とする「全社DX計画」をとりまとめ、現在、その具体化に取り組んでおります。

この度、当社の取り組みが、経営者が企業価値向上に向け実践すべき事柄を定めた「デジタルガバナンス・コード」の項目に関する基準を満たしているとして、「DX認定事業者」に認定されました。

当社としては、今後とも「全社DX計画」を着実に実行し、環境の変化に対して的確に柔軟に対応するとともに、さらなる企業価値向上に努めてまいります。

* 1 S(Safety : 安全)、E(Environment : 環境)、Q(Quality : 品質)、C(Cost : 価格)、D(Delivery : 物流、納期)、D(Development : 開発)をいいます。

<ご参考：当社 デジタルトランスフォーメーション（DX）戦略の推進>

<https://sumitomoelectric.com/jp/company/dx>

以上